

信州大学医学部附属病院 脳神経内科、リウマチ膠原病内科に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020 年 10 月 6 日

「免疫グロブリン重鎖アミロイドーシス患者における血清アミロイド原性重鎖フラグメントの解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4857
研究課題名	免疫グロブリン重鎖アミロイドーシス患者における血清アミロイド原性重鎖フラグメントの解析
所属(診療科等)	信州大学バイオメディカル研究所
研究責任者(職名)	矢崎正英(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025 年 8 月 31 日
研究の意義、目的	免疫グロブリン重鎖関連アミロイドーシス(AH アミロイドーシス)患者さんの血液中のアミロイドの元になる重鎖断片の存在を明らかにすることを目的とした研究で、AH アミロイドーシスの血液診断マーカーの確立に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2000 年 4 月 1 日から 2020 年 8 月 31 日の期間に当院で、①AH アミロイドーシスとして、②AH アミロイドーシス以外のアミロイドーシスとして、③アミロイドーシス以外の病気で医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別／保存血清
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、保存されている血清の一部を用いて、血液中の免疫グロブリン重鎖の断片の存在を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 矢崎正英(バイオメディカル研究所 教授) 電話:0263-37-2388

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。